

LESSON 2 Iwago Mitsuaki — An Animal Photographer

教科書 pp.26 ~ 37

1. 課のねらい

題材

概要	総語数	新出語数	
岩合光昭さんへのインタビューを通して、動物写真家としての生き方に触れる。被写体をよく観察することや、自然をありのままに受け入れ、共生することの大切さについて学ぶ。	全体	314 語	22 語
	S1	103 語	6 語
	S2	106 語	11 語
	S3	105 語	5 語

言語活動

学校の図書室に飾る写真を選ぶという設定において、自分が選んだ写真の説明を、理由とともにグループで伝え合うことができるようにする。

言語材料

セクション	言語材料	ターゲット文	活用コーナー
1	助動詞	How can you take such wonderful photos? The place may be warm from the sunlight.	Write & Talk
2	受け身	I was impressed by the scene.	Let's Talk
3	助動詞のついた受け身	This should be kept in mind.	Let's Talk

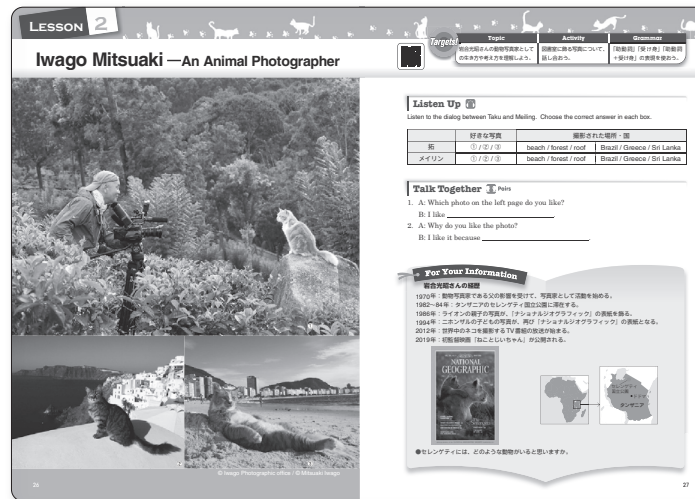
2. 題材の背景

岩合光昭さんは19歳のときに訪れたガラパゴス諸島の自然の驚異に圧倒され、動物写真家としての道を歩み始める。以来、世界中で野生動物や大自然を撮影し続けている。また野生動物だけでなく、身近な動物であるイヌ、ネコも撮影し続けており、数多くのファンを獲得している。2012年からNHK BSプレミアムで放送開始された『岩合光昭の世界ネコ歩き』は、人気ドキュメンタリー番組となっている。

3. 題材資料データに掲載の項目

1. 岩合光昭さんについて
2. セレンゲティ
3. ネコとのかかわり
4. その他の作品

(pp.26 ~ 27)



扉の写真

- ①『岩合光昭の世界ネコ歩き続々番組ガイドブック』(2018)より。スリランカでの撮影風景。
- ②『ねこ歩き』(2014)より。ギリシャ、サントリーニ島のネコ。
- ③『岩合光昭の世界ネコ歩き2』(2018)より。ブラジル、リオデジャネイロ南東部のコパカベータで人気のネコ。

Listen Up



【スクリプト】

Meiling: Look at these photos, Taku.

Taku: Wow, those cats are so cute.

Meiling: Which photo do you like?

Taku: I like photo 3. The cat is lying on the beach like a human. It's interesting. Where is it?

Meiling: It's in Brazil.

Taku: Oh, I see. The cat is really relaxing there. Which photo do you like, Meiling?

Meiling: I like photo 2. The cat is sitting on the roof of a house on an island in Greece. I like the color of the cat. The cat looks good next to the white

houses.

Taku: Who took the photos?

Meiling: An animal photographer, Iwago Mitsuaki did. He takes photos of cats around the world. Let's learn about him.

【日本語訳例】

メイリン：拓、この写真を見て。

拓：うわー。とってもかわいいネコたちだね。

メイリン：どの写真が好き？

拓：写真③が好きだね。このネコは人間みたいにビーチに横たわっているよ。面白いね。これはどこだろう？

メイリン：ブラジルよ。

拓：そうか。このネコは本当にそこでリラックスしているね。メイリン、君はどの写真が好き？

メイリン：私は写真②が好きよ。このネコはギリシャにある島の家の屋根に座っているわ。私はこのネコの色が好き。白い家の隣で素敵に見える。

拓：これらの写真は誰が撮影したの？

メイリン：動物写真家の岩合光昭さんよ。彼は世界中のネコの写真を撮っているの。彼について学ぼう。

【解答】

	好きな写真	撮影された場所・国
拓	③	beach Brazil
メイリン	②	roof Greece

Talk Together

【解答例 1】

1. A: Which photo on the left page do you like?
B: I like photo 2.
2. A: Why do you like the photo?
B: I like it because the cat is beautiful.

【解答例 2】

1. A: Which photo on the left page do you like?
B: I like photo 3.
2. A: Why do you like the photo?
B: I like it because the cat looks like a human.

【解答例 3】

1. A: Which photo on the left page do you like?
B: I like photo 1.
2. A: Why do you like the photo?
B: I like it because the color of the photo is beautiful.

【指導上のポイント】

扉の写真のうち、好きなものとその理由を述べさせる活動を通じて、写真に着目させ、題材への意識を高める。好きな写真は、番号で答えればよいので難しくはないであろう。理由については、写真をよく見て、その特徴に関連したことを述べさせるよう注意する。

For Your Information

【補足説明】

岩合さんが滞在したセレンゲティ国立公園は、タンザニア連合共和国にある自然保護を目的とした国立公園である。1981年にユネスコの世界自然遺産に指定された。面積1万4,763平方キロメートルの国立公園内には約300万頭の哺乳類

が生息し、なかでも150万頭ものヌーの大群の大移動はセレンゲティ最大の見ものである。

●「セレンゲティには、どのような動物がいると思いますか。」

セレンゲティには、ヌーの大群、ヌーとともに移動するシマウマの群れ、ゾウやキリン、バウファローなどの大型哺乳類、500種もの鳥類などが生息している。

Oral Introduction

Do you like cats? An animal photographer, Iwago Mitsuaki travels around the world and takes many photos of cats. As you see, his photos are unique and interesting. Why can he take such unique photos? Let's read his interview and find out.

1 (pp.28 ~ 29)

The screenshot shows a lesson page for Iwago Mitsuaki, an animal photographer. It includes a summary section with a table for reading comprehension, a grammar section with exercises, and an oral introduction section with photos of cats and a list of questions. The page is numbered 28 and 29.

音声のポイント

- first of all (I.1) : 1語1語発音するのではなく、音のつながりで「ファスタボー」のような発音になる。
observe (I.7) : oを「オ」とならないよう、[ə]の音であることを意識させ、口をあまり開けずに弱く曖昧に「ア」と言うよう注意させる。
warm (I.11) : aは [ɔ:] の発音で、口を大きく開けたあと、唇を丸くして前に突き出した形で「オー」となる。

セクションの構成

- 前半 : ネコを好きな理由を生徒がたずね、岩合さんが理由を答える。
後半 : 面白い写真をどのように撮るのかを岩合さんが説明する。

写真

- 左 : 『ねこ歩き』(2014)より。日向ぼっこをするネコたち。宮城県石巻市。
右 : 『岩合光昭の世界ネコ歩き』(2015)より。スマイルの咲く、高地にあるチーズ工場のミケ。シチリア島コッレザーノ。

日本語訳例

- 生徒 : はじめに、どうしてネコが好きなのですか。
岩合さん : 彼らが自由だからです。ネコはベッドとして人間とともに生きますが、リードをつけていません。ネコは美しく、完璧です。
生徒 : あなたのネコの写真はいつも面白いのです。どうしたら、そんなにすばらしい写真を撮れるのですか。
岩合さん : 写真を撮る前に、ネコの生活習慣をとても注意深く観察するのです。例えば、ネコがたくさんいる街では、彼らを毎日注意して見ます。寒い朝に、彼らはいつも同じ場所に集まってくるのです。その場所は日光で暖かいのかもしれませんが。ですから、私はあらかじめそこに行って、彼らを待つのです。彼らは自然に、私の周りに座ってきます。

Oral Introduction

How often do you take photos? Can you take good photos? Is there anything you should be careful of when you take photos? Iwago's photos catch good moments of cats. Here, he teaches us how he can take such photos.

解説

◆1. **First of all, why do you like cats?** 「はじめに、どうしてネコが好きなのですか」

表現 first of all で「はじめに」。first と同じ意味を持つが、all がつくことで「他の何よりも先に」と強調される。

(例) I'm going to cook dinner now, but *first of all*, I need to clean up this mess. 「今から晩ごはんの用意をするけど、まずは片づけをしなきゃ」(『ウィズダム英和辞典』)

◆2. **Because they are free.** 「彼らが自由だからです」

読解 they は cats を指す。

◆2-3. **Cats live with people as pets, but they are not on a leash.** 「ネコはペットとして人間とともに生きますが、リードをつけていません」

語 as は前置詞で「～として」の意味。

読解 they は cats を指す。

表現 on a leash で「リードをつけて」。

(例) I saw the dog was on a leash. 「イヌがリードをつけているのを見ました」
「リードを外して」は off a leash と言う。

◆5-6. **How can you take such wonderful photos?** 「どうしたら、そんなにすばらしい写真を撮れるのですか」

文法 can は助動詞で「～できる(能力)」の意味。【→ Grammar】

語 such は、<(a +) 形容詞 + 名詞> の前について、「そんなに～、とても～」という強調を表す。

◆7-8. **I observe the lifestyle of cats very carefully before I take photos.** 「写真を撮る前に、ネコの生活習慣をとても注意深く観察するのです」

語 observe は他動詞で「～を(注意深く)観察する」の意味。

◆8-9. **For example, in a town with many cats, I watch them every day.** 「例えば、ネコがたくさんいる街では、彼らを毎日注意して見ます」

読解 for example 「例えば」は例示のディスコースマーカーである。これから、前文で述べられたこと具体例が述べられることがわかる。

語 watch は他動詞で「(人・もの・こと)を注意して見る」という意味。

読解 them は many cats を指す。

語 every day 「毎日」は副詞の働きをする。形容詞 everyday 「毎日の」と混同しないよう注意する。

◆9-10. **On cold mornings, they always come together in the same place.** 「寒い朝に、彼らはいつも同じ場所に集まってくるのです」

表現 on cold mornings で「寒い朝に」。この on は「時」を表し、特定の日や、朝・晩・午後などがあとに続く。

(例) The girl sells a box of matches on *cold mornings*. 「その少女は寒い朝にマッチを売ります」

◆10-11. **The place may be warm from the sunlight.** 「その場所は日光で暖かいのかもしれない」

文法 may は助動詞で、ここでは推量の意味を表す。【→ Grammar】

語 from は「原因・理由」を表す前置詞。sunlight 「日光」が理由で暖かいという意味である。

◆11-12. **So I go there in advance and wait for them.** 「ですから、私はあらかじめそこに行って、彼らを待ちます」

読解 there は前文の the place, すなわち 2 文前の the same place を指す。

表現 in advance で「あらかじめ」。

(例) book a ticket well *in advance* 「十分に余裕を持って切符を予約する」(『ウィズダム英和辞典』)

表現 wait for ～で「～を待つ」。wait は自動詞なので、目的語の前に前置詞 for が必要となる。

(例) *wait for a train* 「電車を待つ」(『ウィズダム英和辞典』)

読解 them は cats を指す。

◆12-13. **They naturally sit around me.** 「彼らは自然に、私の周りに座ってきます」

語 naturally は副詞で「自然に」。sit around me を修飾している。

表現 sit around me で「私の周りに座る」。ネコが岩合さんの周りで座ってくつろいでいて、岩合さんはその自然なようすを写真に撮ることができるということである。around は前置詞で「～の周りに」の意味。

(例) *sit around a table* 「テーブルを囲んで座る」(『ウィズダム英和辞典』)

Q & A



【解答】

- Do cats live with people as pets?
— Yes, they do. (II.2-3)
- What does Iwago do in a town with many cats?
— He watches them every day. (II.8-9)
- Why do the cats always come together in the same place on cold mornings?
— Because the place may be warm from the sunlight. (II.10-11)

【補充問題】

- Why does Iwago like cats?
— Because they are free. (I.2)
- What does the student think about Iwago's photos of cats?
— They are always interesting. (I.5)
- What does Iwago do before he takes photos?
— He observes the lifestyle of cats very carefully. (II.7-8)
- What do cats do on cold mornings?
— They always come together in the same place. (II.9-10)
- Who naturally sits around Iwago?
— Cats do. (I.12)

TF



【解答】

- Cats live with people as pets because they need people's help. (F) (このようなことは述べられていない)
- The student thinks Iwago's photos are interesting. (T) (I.5)
- The cats naturally sit around Iwago because he is warm. (F) (II.10-13)

【補充問題】

- Cats are always on a leash. (F) (I.3)
- Cats always come together in the same place every day. (F) (II.9-10)

Summary

【解答】

- free (I.2)
- perfect (I.4)
- lifestyle (I.7)

【指導上のポイント】

表にまとめることで、インタビューの骨子をつかむ練習となる。ここでは、岩合さんの発言の主な内容である、ネコを好きな理由と写真の撮り方についてまとめる。

Grammar

【解説】

中学校で習った助動詞を復習するのに加えて、1つの助動詞にもさまざまな意味があることを学習させたい。まずは、助動詞のあとの動詞は原形であることを徹底させる。高校1年生の段階では、しばしば He can runs fast. とする生徒がいるので、この機会に改めて復習させる。

(1) can

can は「～できる(能力)」「～してもよい(許可)」「～しうる(可能性)」の意味。cannot で「～のほずがない」の意味も押さえておきたい。

(2) may

may は「～かもしれない(推量)」と「～してもよい(許可)」の意味。

(3) must

must の意味の1つめ「～しなければならない(義務)」は命令文と同じように強い表現である。そしてもう1つの意味「～に違いない(強い推量)」も大切である。must not ～「～してはいけない(禁止)」と don't have to ～「～する必要はない」も区別できるようにさせたい。

(4) will

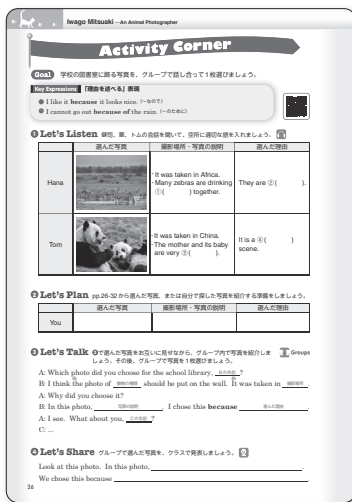
will は「～だろう(単純未来)」「～するつもりだ(意志未来)」、疑問文においては「～してくれませんか(依頼)」などの意味。疑問文でも、相手の意志を確認する意味となることもある。

(5) should

should は「～した方がよい、～するべきだ(義務・助言)」「～のほずだ(推量)」。had better 「～したほうがよい」、had better not 「～しないほうがよい」も、生徒の理解度を確認しながらここで導入したい。had better は目上

Activity Corner

(p.36)



Key Expressions

【解説】

「理由を述べる」表現

● I like it **because** it looks nice.

接続詞 **because** は最も一般的な表現である。類似の表現には **as** や **since** などがあるが、**because** の場合は理由に、**as** などの場合は主節の内容に重点が置かれる点が異なる。

● I cannot go out **because** of the rain.

この文は接続詞 **because** を使うと、I cannot go out because it is raining. などとなる。because of のあとには名詞が続き、because のあとにはSVが続くことを確認する。

【補充の表現】

類似の表現には due to ~, owing to ~, on account of ~ などがあるが、いずれもかたい表現である。

For this reason, I should take care of her.
for で理由を表すのはかたい表現ではあるが、このような用法があることをこの段階で意識させられると、後に関係副詞 **why** を導入するときに役立つ。

また、理由を表す **for** は熟語的に覚えさせたい表現にも使われている。

(例) John Lennon is famous **for** his song.
「ジョン・レノンは彼の歌で有名だ」(『ウイズダム英和辞典』)

1. Let's Listen

【スクリプト】

Kenji: Which photo should we put in the school library, Hana?

Hana: I think this photo should be put on the wall, Kenji. It was taken in Africa. In this photo, many zebras are drinking water together. This is good because they are relaxing.

Kenji: It looks really calm. How about you, Tom?

Tom: I think this photo should be put on the wall. It was taken in China. In this photo, the mother and its baby are very close. The reason why I chose this one is that it is a peaceful scene.

Kenji: Oh, I see. Both look good. But in my opinion, the photo of zebras is better.

【日本語訳】

健司: 華、どの写真を学校の図書室に飾ればいいと思う？

華: 健司、私はこの写真を壁に飾るといいと思うわ。これはアフリカで撮られたの。この写真では、たくさんのシマウマが一緒に水を飲んでいるの。シマウマがリラックスしているので、いい写真だよ。

健司: とっても穏やかに見えるね。トム、君はどう？

トム: 僕はこの写真を壁に飾った方がいいと思う。これは中国で撮られたんだよ。この写真では、お母さんと赤ちゃんがとっても親密なんだよ。僕がこれを選んだ理由は、これが平和的なシーンだからなんだ。

健司: なるほど。両方いいね。でも僕の意見で

は、シマウマの写真の方がいいな。

【解答】

① water ② relaxing ③ close ④ peaceful

2. Let's Plan

【例】

選んだ写真	撮影場所・写真の説明	選んだ理由
cats on page 28	It was taken in Japan. Many cats are sitting and sleeping in the sun.	They look comfortable.
giraffes on page 30	It was taken in Africa. Giraffes are walking at dusk.	It is a beautiful photo.

【指導上のポイント】

このレッスンの中で扱われている写真を再度振り返って吟味してもらいたい。写真が撮影された場所は It was taken in ~、写真の中の動物の動きなどは現在進行形を用いて描写するよう指導したい。写真を選択した理由に関しては、例文にならって自分の感覚でさまざまな形容詞を考えてみるよう指導したい。

3. Let's Talk

【やり取り例】

A: Which photo did you choose for the school library, B?

B: I think the photo of cats on page 28 should be put on the wall. It was taken in Japan.

A: Why did you choose it?

B: In this photo, many cats are sitting and sleeping in the sun. I chose this because they look comfortable.

A: I see. What about you, C?

C: ...

【指導上のポイント】

自分が選んだ写真や教科書の掲載ページを、聞き手に見せながら語る Show & Tell の技法で話すよう指導したい。Let's Plan の段階では、場合によってはキーワードを書く程度の準備でもよい。やり取りの際には、写真を指差しながらキーワードを入れて表現できるよう練習を促したい。最終的に Let's Share でグループで1つの写真を選ばせるために、準備した内容に加えて自分が選んだ写真のよさに言及したり、お互いの写真についてコメントをしたりして、より深い対話につながるよう指導したい。

4. Let's Share

【発表例】

Look at this photo. In this photo, many cats are sitting and sleeping in the sun. We chose this because they look comfortable. The photo will make people feel relaxed.

【指導上のポイント】

グループとして選んだ写真を見せながら、写真を薦めた生徒の意見をリテリングするような形で理由を述べるよう指導したい。これは本文のリテリング活動の応用であることも伝えたい。さらに、発表する生徒には、その写真のよさをアピールするような文をメッセージとして付け加えるよう指示するなど、主体的な思考と表現の機会を与えたい。

補充課題

【問】

以下の問いについて、あなたの意見とその理由を2つ英文で書きなさい。

These days, many people have pets. Do you think it is good for them to have pets?

【解答例】

I think it is good for people to have pets. First, pets will reduce people's stress. Pet owners feel relaxed when they spend time with their pets. Second, people will develop a sense of responsibility. They have to take care of their pets every day. For these reasons, having pets is good for people.

Challenge Photo Ark

(p.37)

題材のねらい

動物園や水族館の動物の写真を撮影する写真家のプロジェクトについて学び、動物の絶滅を防ぐために取りうるさまざまな方法について考える。

題材の背景

写真家ジョエル・サートレイは、世界中の動物を写真に収めて、人々にその存在や大切さを伝えている。サートレイは、ナショナルジオグラフィック誌の写真家として世界を飛び回りながら、絶滅の危機にある動物の存在を感じていた。写真家として、何かできることはないのか。考えたときに頭に浮かんだのが、写真を撮ることで、人々の動物に対する関心を高められるのではないかということだった。

こうして「PHOTO ARK」プロジェクトがスタートした。目標は、世界中の動物園・保護施設にいる生き物のすべて 1万 2,000 種を撮影することである。その半分、6,000 種を撮り終えたところで写真集『PHOTO ARK 動物の箱舟 絶滅から動物を守る撮影プロジェクト』が刊行され

た。現在もプロジェクトは進行中である。

写真

カリフォルニアで行われたナショナルジオグラフィック写真家のサイン会で、写真集にサインをするジョエル・サートレイさん。

日本語訳例

現在、多くの動物が絶滅の危機に直面しています。例えばパンダ、トラ、ウミガメなどです。どうしたらそれらの動物たちを守ることができるでしょうか。

ジョエル・サートレイさんは、動物写真家です。彼は、「Photo Ark (写真の箱舟)」というプロジェクトのために動物の写真を撮っています。それは、聖書にある「ノアの箱舟」にちなんで名づけられました。彼は 10 年間にわたって、世界中の動物園や水族館で 6,000 ほどの動物の写真を撮りました。彼は、それらの動物の写真集を出版しました。写真集を通して、人々は、動物たちはそれぞれ独特で大切であると感じます。ノアの箱舟のように、彼の写真集は動物の保護へとつながるでしょう。

サートレイさんは、「世界中の動物園と水族館にいる 1万 2,000 種すべての写真を撮るつもりです」と言います。彼は、人々が生命の大切さに気づくことを願っています。

Oral Introduction

Do you care about the lives of ants? Or grasshoppers? Have you ever thought that their lives are valuable? Many of you might say no. Then, how about the lives of humans? Joel Sartore is trying to tell us that all species are necessary to this planet. Let's find out how he's doing it.

解説

◆1. Many animals are now facing the danger of extinction. 「現在、多くの動物が絶滅の危機に直面しています」

【表現】 face the danger of ~で「～の危機に直面する」。

(例) face the danger of death 「死の危機に直面する」

【語】 extinctionで「絶滅」。

◆2. Some examples are pandas, tigers, and sea turtles. 「例えばパンダ、トラ、ウミガメなどです」

【情報】 IUCN (国際自然保護連合) は、生物種を絶滅リスクの高さによって9つのカテゴリーに分類したレッドリストを公表している。2021年6月時点で、このリストによると、ジャイアントパンダは「vulnerable (危急)」、トラは「endangered (危機)」、ウミガメのいくつかの種は「critically endangered (深刻な危機)」に分類されている。(URL: <https://www.iucnredlist.org/ja>)

◆2-3. How can we protect those animals? 「どうしたらそれらの動物たちを守ることができるでしょうか」

【文法】 How can ~? は疑問詞のある助動詞 can の疑問文で、「どうしたら [どのように] ~することができるだろうか」。

【読解】 those animals は、1~2行目で述べられている「絶滅の危機に直面している多くの動物たち」を指す。

◆4. Joel Sartore is an animal photographer. 「ジョエル・サートレイさんは、動物写真家です」

【情報】 Joel Sartore は米国オクラホマ州生まれの写真家。ナショナルジオグラフィック誌のカメラマンとして活動し、世界中で多くの動物写真を撮っている。

◆4-5. He takes photos of animals for his project, "Photo Ark." 「彼は『Photo Ark (写真の箱舟)』というプロジェクトのために動物の写真を撮っています」

【読解】 his project と "Photo Ark" は、コンマをはさんで同格の関係にある。

【語】 Ark で「(ノアの) 箱舟」。

◆5-6. It was named after "Noah's Ark" from the Bible. 「それは、聖書にある『ノアの

箱舟』にちなんで名づけられました」

【読解】 It は his project, "Photo Ark" を指す。

【表現】 name ~ after ... で「…にちなんで~を名づける」。ここでは受け身の形。

(例) He was named Thomas after his uncle. 「彼はおじの名前をもらってトーマスと名づけられた」(『初級クラウン英和・和英辞典』)

【語】 Bible で「聖書」。原則として、冠詞の the をつけ、大文字で始める。

【情報】 旧約聖書では、ノアが神に命じられて箱舟を作り、家族とすべての動物のつがいに乗せて大洪水から守ったといわれている。

◆6-7. Over ten years, he took photos of about 6,000 animals in zoos and aquariums throughout the world. 「彼は10年間にわたって、世界中の動物園や水族館で6,000ほどの動物の写真を撮りました」

【語】 over は「～にわたって、～の間」と期間を表す前置詞である。

(例) Over the next few weeks, they came to love each other. 「わずか次の数週間の間に、彼らは愛し合うようになった」(『ウィズダム英和辞典』)

【語】 aquarium は「水族館」。aqua- は「水」を表す接頭辞。

【表現】 (throughout + 場所) で「～の至るところに」。時間を示す語が置かれた場合は「～の間じゅう」の意味。

(例) Her toys are scattered throughout the room. 「彼女のおもちゃは部屋のあちこちに散らばっている」(『ウィズダム英和辞典』)

◆8. He published photo books of those animals. 「彼は、それらの動物の写真集を出版しました」

【読解】 those animals は about 6,000 animals in zoos and aquariums throughout the world を指す。

◆8-9. Through the books, people feel that the animals are unique and important. 「写真集を通して、人々は、動物たちはそれぞれ独特で大切であると感じます」

【文法】 that 節が SVO の O にあたる形。that 節には S'V' が続く。この that は省略されることもある。

【読解】 the animals は前文の those animals, すなわち about 6,000 animals in zoos and

aquariums throughout the world を指す。

語 unique は形容詞で「独特の、無比の」の意味。日本語の「ユニーク」は「面白い」というニュアンスで使われることも多いが、ここでは「他に類を見ない [かけがえのない]」という意味で使われていると考えられる。

◆10-11. Like Noah's Ark, his books will lead to the protection of the animals. 「ノアの箱舟のように、彼の写真集は動物の保護へとつながるでしょう」

語 like は「～のように」の意味の前置詞。

表現 lead to ～で「～につながる、～という結果になる」。

(例) Poor communication leads to war. 「コミュニケーション不足は戦争につながる」

語 protection は動詞 protect の名詞形で、「保護」の意味。

◆12-14. Sartore says, "I will take photos of all 12,000 species in zoos and aquariums throughout the world." 「サートレイさんは、『世界中の動物園と水族館にいる1万2,000種すべての写真を撮るつもりです』と言います」

語 species は「種(しゅ)」の意味。単数形も複数形も同じ形であることに注意。

◆15-16. He hopes that people realize the importance of life. 「彼は、人々が生命の大切さに気づくことを願っています」

文法 that 節が SVO の O にあたる形。that 節には S'V' が続く。この that は省略されることもある。

語 importance は important の名詞形で、「大切さ、重要性」の意味。

語 life は「(抽象概念としての) 生命」の意味では不可算名詞である。

c) Zoos and aquariums.

— a) (ll.10-11)

【補充問題】

1. What does Joel Sartore do?
— He is an animal photographer. (l.4)
2. What was Sartore's project, "Photo Ark" named after?
— It was named after "Noah's Ark" (from the Bible). (ll.5-6)
3. How many species are there in zoos and aquariums throughout the world?
— 12,000 species are. (ll.12-14)

【TF 補充問題】

1. Pandas, tigers, and sea turtles are in danger of extinction. (T) (ll.1-2)
2. Joel Sartore took photos of 6,000 wild animals. (F) (ll.6-7)
3. Sartore published some photo books to protect endangered animals. (T) (ll.8-11)

Write & Talk

【解答例】

(例 1)

A: What can we do to protect wild animals?
B: I think we can keep them in zoos. What about you?

(例 2)

A: What can we do to protect wild animals?
B: I think we can protect the environment for them. What about you?

【展開例】

それぞれの回答内容に理由や具体例などをつけることにより、やりとりを深めることができる。

(例 1)

A: What can we do to protect animals?
B: I think we can keep them in zoos. Some animals are facing the danger of extinction, so we have to save them.
A: That's really important. Can you give me some examples?
B: Of course. Pandas, tigers, and sea turtles are some of them.

Q & A



【解答】

1. Why does Joel Sartore take photos of animals?
a) For Photo Ark. b) For Noah's Ark.
c) For the Bible.
— a) (ll.4-5)
2. What will his books lead to?
a) The protection of the animals.
b) The danger of extinction.

Basic Skills for Writing ①

文を正確に書こう

(p.38)

英語と日本語の語順の違い

英語と日本語では「語順」が異なる。英文をつくるときや長い文を訳すとき、難しいと感じるのは「語順」の違いによることも多い。ここでいう「語順」とは文型をつくる要素である主語、述語動詞、目的語などの順序のことである。(教科書 p.10 参照)。必ずしも単語レベルではないことに注意を向けさせたい。

■例文 1

〈主語 (S) + 述語 (V)〉の文型

メイは毎日走る。

May runs every day.

上の日本語と英語の文を見比べてみよう。要素ごとに切れ目を入れると、次のようになる。

メイは / 毎日 / 走る。

主語 (S) / 修飾語句 / 述語 (V)

May / runs / every day.

主語 (S) / 述語 (V) / 修飾語句

日本語の文では、〈主語 (S)、修飾語句、述語 (V)〉となっているのに対し、英語の文では〈主語 (S)、述語 (V)、修飾語句〉となっている点に注意を向けさせたい。

日本語の文も英語の文も、主語 (S) が文の最初にくる点では同じである。違っているのは、述語 (V) のくる位置である。日本語では述語が文の最後にくる。英語は、述語 (V) が主語の次にくる。どんなに 1 文が長くなろうとこの決まりは変わらない。主語 (S)、述語 (V) 以外は、日本語だと両者の間に入る。英語だと、述語 (V) のあとにくる。

さらに以下の例文を提示して、同じ意味を表す日本語の文と英語の文で、語順を見比べさせてもよい。文型についての詳細は教科書 p.10 で確認していただきたいが、補語 (C) は述語 (V) を除いた直前の要素と等式関係 (=) が成立するという点などにも触れておきたい。

メイは / 昨日 / 走った。

主語 (S) / 修飾語句 / 述語 (V)

May / ran / yesterday.

主語 (S) / 述語 (V) / 修飾語句

メイは / 昨日 / 公園の周りを / 走った。

主語 (S) / 修飾語句 / 修飾語句 / 述語 (V)

May / ran / around the park / yesterday.

主語 (S) / 述語 (V) / 修飾語句 / 修飾語句

メイは / 昨日 / 夕食後に / 公園の周りを / 走った。

主語 (S) / 修飾語句 / 修飾語句 / 修飾語句 / 述語 (V)

May / ran / around the park / after dinner / yesterday.

主語 (S) / 述語 (V) / 修飾語句 / 修飾語句 / 修飾語句

■例文 2

〈主語 (S) + 述語 (V) + 補語 (C)〉の文型

彼女は / 高校生に / なった。

主語 (S) / 補語 (C) / 述語 (V)

She / became / a high school student.

主語 (S) / 述語 (V) / 補語 (C)

彼女は / 有名な歌手 / だ。

主語 (S) / 補語 (C) / 述語 (V)

She / is / a famous singer.

主語 (S) / 述語 (V) / 補語 (C)

■例文 3

〈主語 (S) + 述語 (V) + 目的語 (O)〉の文型

彼女は / 部活動を / 楽しんでいる。

主語 (S) / 目的語 (O) / 述語 (V)

She / enjoys / the club activity.

主語 (S) / 述語 (V) / 目的語 (O)

私は / テレビを / 見ている。

主語 (S) / 目的語 (O) / 述語 (V)

I / am watching / TV.

主語 (S) / 述語 (V) / 目的語 (O)

語順が異なるのは、ものごとを言語化するときの発想の順番が異なることに起因すると言われていいる。これは、英語圏の文化を反映しているとも言える。英語では「誰 (何) が、どうした」という情報をできるだけ早く正確に伝えるため、文の最初に主語 (S)、そのあとに述語 (V) がくると言われる。

日本語と英語の文の語順の違いをもう一度まとめると、日本語は「主語 (S) が文頭、述語 (V) が文末」、英語は「主語 (S) が文頭、述語 (V) がその次」という文構造になっている。非常に単純なことであるが、違いを意識し、慣れることは容易ではない。ここにあげた例文で確認するとともに、英文和訳の問題などでも、語順の違いに習熟させたい。慣れるまでは、ここでの例文のように、文の要素ごとに斜線 (/) を入れて考えさせるのもよい。

句読点

1. (,) コンマ (Comma)

コンマは文中の節と節などの切れ目を示す。日本語の場合、接続詞のあとに読点 (,) をつける

ことがあるが、英語の場合は前につけることを指摘しておきたい。

(例) John looked happy, and Mary looked sad.

なお、従属の接続詞をとまなう節が文の後半にくる場合はコンマを付けないのが一般的である。

(例) When I was a child, I lived in Osaka.
I lived in Osaka when I was a child.

2. (:) コロン (Colon)

コロンは直前に述べたことをより具体的に説明する際に使う。意味的には “It is” や “They are” の代わりだと考えるとよい。

(例) In a race, the starter says three things: ready, set, and go.

3. (;) セミコロン (Semicolon)

セミコロンはコンマとピリオドが組み合わさったもの。関係の強い複数の文をつなぐ接続詞の働きをもつ。

(例) Mary got an A for her report; I got a B for mine.

4. (—) ダッシュ (Dash)

ダッシュとハイフン (-) は線の長さや使用法が異なる。ダッシュはおよそ 2 文字分の長さで書き、補足説明などを挿入する際に用いる。ハイフンはダッシュに比べて線が短く、mother-in-law や thirty-six のように語と語をつなぐ際に用いる。

(例) The family came to this town ten years ago — I was a high school student then — because of the father's job.

TRY 1

【解答】

① 私の名前は / 優太 / です。

(1) (3) (2)

My name is Yuta.

② 私は / 新潟に / 住んでいます。

(1) (3) (2)

I live in Niigata.

③ 兄は / ラグビーを / しています。

(1) (3) (2)

私は / サッカーを / しています。

(4) (6) (5)